

プレアワード ①プロジェクト企画立案支援

初級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応した。

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。

1. 国の科学技術政策や次年度概算要求等をまとめ、所属大学の適切な研究者、研究グループへ情報提供し、外部資金申請準備を早期に行うことができた。

2. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想(プロジェクトの目的、内容、特徴、体制、必要資金額等)やコアコンピタンスを把握した。

3. 外部資金等の募集要項を正確に把握し、その内容を研究者(又は、研究グループ)に的確に説明できた。また、不明な点等について、FAに確認し、明確化した。

4. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想に最適な研究資金制度を提案できた。

5. プロジェクト企画の内容を研究者(又は、研究グループ)及び学内外関係者等と的確に共有できるよう文書化し、企画案を取りまとめることができた。

6. 国の政策や外部資金の実施機関の狙い及び大学の方向性などを把握、理解するセミナー等を開催し、研究者の研究企画の知識向上に寄与した。

③重要性

④学内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 学内からの申請数の増加、採択数の増加につながった(研究企画案を基に実際に外部資金への応募の質、量が向上した)。

2. プロジェクト企画支援の結果等を整理し、研究者(又は、研究グループ)や学内外関係者と共有することにより、的確な現状把握と今後の活動方針の策定に貢献した。

3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけを理解している。

②知識

1. 外部資金申請の枠組みの流れ、公募情報源、外部資金による事業の背景(科学技術政策、国・省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)の初歩的な事項を理解している。

2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法)、規則、契約内容等の初歩的な事項を理解している。

3. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反等)の初歩的な事項を理解している。

4. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続き(情報提供・伝達方法等)を理解している。

③実務

- 1. プロジェクト企画に必要な業務(例:スケジュール管理, 会議運営, 分析作業, 人的ネットワークづくり等)の初歩的な事項(例:実務全体の20~30%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 上司の指導の下でその課題を解決することができる。
- 3. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級・中級 URA や関係者に報告, 相談し, 適切な対処ができる。

④語学

- プロジェクトに関連する英文の科学技術情報等について, 最低限の範囲で理解できる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 3. 関係者との間で信頼関係を確立し, 連携・協業できる。
- 4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

主担当者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. 国の科学技術政策や次年度概算要求等をまとめ、執行部、部局長、所属大学の適切な研究者・研究グループへ情報提供し、外部資金申請準備を早期に行うことができた。
- 2. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想(プロジェクトの目的、内容、特徴、体制、必要資金額等)やコアコンピタンスを把握した。
- 3. 研究グループが特に研究企画立案(分野融合、文理融合等の研究)を行う際に、人的ネットワークの活用や部局長への相談などにより、適切なメンバーを提案することができた。
- 4. 外部資金等の募集要項を正確に把握し、その内容を研究者(又は、研究グループ)に的確に説明できた。また、不明な点等について、FAに確認し、明確化した。
- 5. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想に最適な研究資金制度を提案できた。また、当該研究資金制度に合わせて、研究構想をプロジェクトとして企画・立案することができた。
- 6. プロジェクト企画の内容を研究者(又は、研究グループ)及び学内外関係者等と的確に共有できるよう文書化し、企画案を取りまとめることができた。
- 7. 国の政策や外部資金の実施機関の狙い及び大学の方向性などを把握、理解するセミナー等を開催し、研究者の研究企画の知識向上に寄与した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 研究企画案がプロジェクト・チーム立ち上げに活かされ、質の高い申請資料の作成につながった。
- 2. 分野融合、文理融合など、これまで進んでいないプロジェクトの形成が進むようになった。
- 3. 提案したプロジェクトは採択されなかったが、研究者(又は、研究グループ)とその原因などを速やかに解析し、次回に向けた改善策をまとめることができた。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内からの申請数の増加、採択数の増加につながった(研究企画案を基に、外部資金への応募の質、量が向上した)。
- 2. プロジェクト企画の経験、知識を基に、後輩(例:レベル初級)に対する育成指導／助言を行った。
- 3. プロジェクト企画支援の結果等を整理し、研究者(又は、研究グループ)や学内外関係者と共有することにより、的確な現状把握と今後の活動方針の策定に貢献した。
- 4. 学内外の勉強会・フォーラム等で、事例紹介をし、プロジェクト支援に関する情報共有を積極的に実施した。

⑤その他

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 研究者の意見に安易に追従せず、倫理、コンプライアンス、安全衛生、知財の確保、その他研究プロジェクト企画に必要な内容を的確に整理した。

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における研究戦略の中での自己業務の位置づけ(政策、他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司、関係部署、研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)、学内手続きを理解している。

②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ, 公募情報源, 外部資金による事業の背景(科学技術政策, 国・省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解している。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法), 規則, 契約内容などを理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反など)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)など)を理解している。

③実務

- 1. プロジェクト企画に必要な情報を理解している。
- 2. プロジェクト企画に必要な業務(例:スケジュール管理, 会議運営, 分析作業, 人的ネットワークづくり等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 3. 前記2.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 4. 所定の期日までに関係者の業務が終わるよう業務進行管理ができる。
- 5. 関係者の合意形成や相互理解を促進し, 企画・立案を円滑に進めることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

④語学

- プロジェクトに関連する英文の科学技術情報等について, 概ね理解できる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)の信頼を得て, 円滑に情報収集, 意見交換ができる。
- 2. 関係者との間で円滑な議論や交渉ができる。
- 3. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 4. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 5. 研究者の意向と政策や外部資金制度の主旨が異なる場合, 研究者に適切に情報を伝え, 企画を修正することができる。
- 6. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。

プレアワード ①プロジェクト企画立案支援

上級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかのプロジェクト運営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. 国の科学技術政策や次年度概算要求等をまとめ、執行部、部局長、所属大学の適切な研究者・研究グループへ情報提供し、外部資金申請準備を早期に行うことができた。
- 2. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想(プロジェクトの目的・内容・特徴・体制・必要資金額等)やコアコンピタンスを把握した。
- 3. 研究グループが特に研究企画立案(分野融合、文理融合等の研究)を行う際に、人的ネットワークを使ったり部局長への相談などにより、適切なメンバーを提案することができた。
- 4. 外部資金等の募集要項を正確に把握し、その内容を研究者(又は、研究グループ)に的確に説明できた。また、不明な点等について、FA 及び監督官庁に確認し、明確化した。
- 5. 研究者(又は、研究グループ)の研究構想に最適な研究資金制度を提案できた。また、当該研究資金制度に合わせて、研究構想をプロジェクトとして企画・立案することができた。
- 6. プロジェクト企画の内容を研究者(又は、研究グループ)及び学内外関係者等と的確に共有できるよう文書化し、企画案を取りまとめることができた。
- 7. 国の政策や外部資金の実施機関の狙い及び大学の方向性などを把握、理解するセミナー等を開催し、研究者の研究企画の知識向上に寄与した。
- 8. 研究者(又は、研究グループ)が解決できない課題や悩みに適切に助言を与えることができた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 研究企画案がプロジェクト・チーム立ち上げに活かされ、質の高い申請資料の作成につながった。
- 2. 分野融合、文理融合など、これまで進んでいないプロジェクトの形成が進むようになった。
- 3. 企画・立案を支援したプロジェクトが採択された。
- 4. 企画・立案を支援したプロジェクトは採択されなかったが、研究者(又は、研究グループ)とその原因などを速やかに解析し、次回に向けた改善策をまとめることができた。
- 5. 研究企画の最初の段階から参加を要請される割合が増加した。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内からの申請数の増加、採択数の増加につながった(研究企画案を基に、実際に外部資金への応募の質、量が向上した)。
- 2. プロジェクト企画の経験、知識を基に、後輩(例:レベル初級・中級)に対する育成指導／助言を行った。
- 3. プロジェクト企画支援の結果等を整理し、研究者(又は、研究グループ)や執行部を含む学内外関係者と共有することにより、的確な現状把握と今後の活動方針の策定に貢献した。
- 4. 学内外の勉強会・フォーラム等を主催し、事例紹介やプロジェクト支援に関する情報共有を積極的に実施した。

⑤その他

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 研究者の意見に安易に追随せず、倫理、コンプライアンス、安全衛生、知財の確保、その他研究プロジェクト企画に必要な内容を的確に整理した。

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 自己の所掌業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策, 他大学動向の把握を含む)を理解し, 他者(上司, 関係部署, 研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 所掌業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー), 学内手続きを理解している。
- 3. 所掌業務上の課題を発見し, あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ, 公募情報源, 外部資金による事業の背景(科学技術政策, 国・省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解し, 研究提案者に提示することができる。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法), 規則, 契約内容などを理解し, 研究提案者に提示することができる。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反など)を理解し, 研究提案者に提示することができる。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)など)を理解し, 研究提案者に提示することができる。

③実務

- 1. プロジェクト企画に必要な情報を理解している。
- 2. プロジェクト企画に必要な業務(例:スケジュール管理, 会議運営, 分析作業, 人的ネットワークづくり等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 3. 前記2.に関連する業務上の課題を発見し, あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 4. 所定の期日までに関係者が業務を終わるよう業務進行を統括することができる。
- 5. 関係者の合意形成や相互理解を促進し, 企画立案を円滑に進めることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 初級・中級 URA に指示して, 主導的に対応することができる。
- 7. 研究者に対して, あるいは研究グループを組織して, 新規の研究企画を促したり, 提案することができる。
- 8. 研究提案者が一時的に不在の時でも, 企画立案を代行して進めることができる。

④語学

- プロジェクトに関連する英文の科学技術情報等について, 正しくかつ迅速に理解できる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:執行部を含む学内関係者, FA, 監督官庁, 企業)の信頼を得て, 円滑に情報収集, 意見交換ができる。
- 2. 複数の関係者との間で論点を整理し, 円滑な議論や意見調整, 交渉ができる。
- 3. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 4. 研究者や関係者の信頼を得て, 連携し, 協働し, リーダーシップを発揮できる。
- 5. 研究者の意向と政策や外部資金制度の主旨が異なる場合, 研究者に適切に情報を伝え, 企画を修正することができる。
- 6. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。